

○機構発スタートアップ企業第1号にエイチスリー株式会社を認定

機構では、大学が有する知見の社会実装促進を図るべく、「北海道国立大学機構発スタートアップ企業」の称号を授与する制度を設けており、令和5年7月、**第1号として、エイチスリー株式会社（以下、H3）を認定した。**

H3は令和5年4月に設立されたスタートアップで、北海道を中心に介護・福祉サービスを展開する株式会社さくらコミュニティサービス（以下、さくらCS）が、ACEとともに、さくらCS社員への教育プログラムを開発・実施するための融合型共同研究「新規事業開発のための実践的な教育プログラムの開発」（令和4年度）の中で考案された事業をベースとして起業した。

ACEは、この融合型共同研究に基づき、XR（クロスリアリティ）・メタバース等技術的側面、市場調査・マーケティング等ビジネス的側面からさくらCSを支援・指導をしており、今後、H3では、医療機関とフィットネスジムを連携させ、アプリを活用した利用者のPHR（Personal Health Record）を医療機関、フィットネスジム等で共有・活用し、XRを活用した利用者への運動支援を組み合わせることで、健康指導等を充実させ、医師から発行される「運動処方箋」に基づきフィットネスジム等が運動プログラムを提供する「メディカル・フィットネス」の利用促進を図る。



▲認定書を手にする中元社長(右)と岸本教授

○「Zekkeiシンポジウム2023」を開催

商農工融合による3大学連携プロジェクトの一つである観光をテーマに実施しているZekkeiプロジェクトを加速化するため、令和5年11月、Zekkeiシンポジウム2023「Zekkeiの未来を地域の力に！～ジュエリーアイス予測最前線と南極観測隊員からの報告」を開催した。

講演とパネルディスカッションの2部構成でハイブリッド開催した本シンポジウムには、地域企業や自治体から約50名の参加があり、関心を寄せていただいた機関とのより強固な連携をめざすことで、プロジェクトの加速化、地域課題の解決へと前進する機会となった。



▲シンポジウムの模様